

八 華中及華南鉄道交渉ニ関スル件 (一) 三一〇

四九六

呈出スルモノトス

大正三年五月十五日

中華民国三年五月十五日

東亞興業株式会社

社長古市公威代理取締役 白岩 竜平(印)

駐滬代表 河野久太郎(印)

江西南潯鉄路有限公司總理 吳 鈴(印)

名譽總理 陳三立(印)

協理 羅兆棟(印)

第一統借款契約書

附条

本契約ノ各項ハ大正三年六月三十日ニ至リ効力ヲ生スルモノトス若シ同日以前ニ於テ中華民国政府ニ於テ南潯鉄道國有ノ手続ヲ了シタルトキハ本契約ヲ廢棄スルコトヲ双方合意ス

「右見証ス」

大正參年五月拾五日

在上海

日本帝国總領事代理 村上 義溫(印)

言明ノ件

第四〇七号

三一〇 五月二十六日 在中國山座公使ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

南潯鉄道ヲ國有トスル考無キ旨葉交通次長再

貴電第二四五号ニ關シ五月二十六日葉次長ニ面会シ懇談ヲ遂ケタルカ結局葉ハ(一)南潯鉄道ハ我方ニ於テ希望シタル寧湘鉄道又ハ大倉組ト關係アリタル蘇杭甬鉄道トハ全然事情ヲ異ニシ日本國トノミ特殊關係ヲ有セルモノナルコトヲ認メ居レリ(二)南潯鉄道會社ヨリ國有運動ノタメ委員ヲ上京セシムヘシトノコトハ聞及ヒ居ルモ政府ニ於テハ目下之ヲ國有トナス考毫モ之レ無ク右ニ關シ帝國政府ノ得ラレタル報道ハ事実無根ナリ(三)将来若シ國有トナサントスルカ如キコトアラハ必ス予メ本使ヘ通知スヘシ(四)國有ニ關シ何等計画ダニ有セサル今日将来第三國ノ資本ヲ用キルト否トヲ此ノ際論スルカ如キハ露骨ニ謂ハ、取越苦勞ト云フノ外ナシ万二第三國ノ資本ヲ以テ國有トナスカ如キ計画ヲ立ツル場合ニハ是又本使ニ相談スヘシト述ヘ尚次長トシテ殊ニ新任總長未ダ就任セサル今日(六月一日就任ノ筈ナリト云ヘリ)

将来ニ涉リ右以上ハ正式ニ言明スルコト能ハサルモ個人トシテハ該鉄道ヲ國有トナスハ行ヒ得ヘカラサルコトト認ム

ルカ故ニ帝國政府ニ於テ安心セラレテ可ナリト云ヘリ右様ノ次第ナルニ付テハ此ノ上文書ヲ以テ確認セシムルコトハ甚タ困難ナルノミナラス強テ之ヲ求ムルニ於テハ却テ反対ノ結果ヲ來シ折角ノ言明ヲモ覆ヘス虞アリ旁右ニハ何等言及セス引取リタル次第ナルカ此ノ上ノ手段トシテハ白岩等ニ於テ株主側ノ運動ヲ適當ノ時機ニ停止セシメ支那政府ヲシテ詮議ノ余地ナカラシムル様仕向クルノ外ナカルヘント存ス

上海へ電報シタリ

三一一 六月二十九日 在上海有吉總領事ヨリ
加藤外務大臣宛(電報)

南潯鉄道統借款契約ノ効力發生ニ關スル件

第四〇号

往電第三四号ニ閔シ南潯鉄道ハ依然公司ノ手ニテ工事統行スルニ付裏ニ調印ノ契約ハ期日(六月三十日)ニ至リ効力ヲ生スルモノト承知アリタキ旨在北京吳總理ヨリ當地白岩等ニ電報シ来レリ念ノ為

三一二 一月十九日 在中國山座公使ヨリ
牧野外務大臣宛

安正鉄道布設反対ノ公文政府公報ニ発表ノ件

附屬書一 民國二年十二月二十九日附周交通總長ヨリ北正陽商務總會宛指令

二 民國三年一月六日附交通部ヨリ熊國務總理及張農商總長宛公文

安正鉄道布設却下ノ件
安正鉄道布設禁止方請求ノ件

機密第二四号

(一月十九日接受)

大正三年一月十九日

在支那

特命全權公使 山座円次郎(印)

外務大臣男爵 牧野伸頤殿

本件ニ關シテハ客年十一月廿四日附政機密第三四一号御申越ノ次第有之候ニ付關係書類ヲ調査考究ノ上可然廻置ヲ取

八 華中及華南鉄道交渉ニ關スル件 (一) 三一 三二

外務大臣男爵 牧野伸頤殿

本件ニ關シテハ客年十一月廿四日附政機密第三四一号御申越ノ次第有之候ニ付關係書類ヲ調査考究ノ上可然廻置ヲ取

四九七

八 華中及華南鐵道交涉ニ関スル件 (三) 三二

四九八

ルヘキ考ニ有之候処同年十一月初メ森恪本使ヲ來訪シ本件

ニ閑シテハ安徽省ノ有力者ニ於テ復活運動中ニ付公使館ニ

於テハ暫ク干涉セス傍観ノ態度ヲ取ラレ度旨申出テタルニ

付本使ハ暫ク其成行ヲ俟テ何分ノ処置ヲ採ルヘキ趣客年十

二月五日附機密第四三八号ヲ以テ申進置候処今般森ハ安徽

ノ関係者ト共ニ運動ノ為メ上京シ彼ハ裏面ニ立チ表面安徽

關係者ニ於テ当局者ニ対シ運動スル手筈ニ相成リ居リタル

ニ恰モ此時ニ際シ別紙写ノ如キ本鉄道布設反対ノ公文二通

政府公報ニ発表セラルニ至リタルヲ以テ本使ハ森ニ対シ

事情此ノ如クナルニ於テハ前記運動モ到底成功ノ見込ナキ

次第ニアラスヤト尋ネタルニ同人ハ右公文ハ正陽閩商務總

會カ余リニ早マツテ願書ヲ提出シタルニ依リ此ノ如キ結果

ヲ來シタル次第ナルカ關係者ニ於テハ強チ之ヲ障害トモ認

メス要スルニ鉄道ノ事ハ交通部次長葉恭綽ノ掌中ニアルコ

ト故同次長ヲシテ承諾セシムルコトニ専ラ尽力中ニテ尚成

功ノ見込ナキニアラスト思考スルモ多少ノ時日ヲ要スヘキ

ニ付他ニ急用モ有之事トテ一応東京ニ帰リ二三週間以内ニ

再ヒ帰来スヘシトテ同人ハ過日当地ヲ出發致候委細ハ直接

同人ヨリ御聞キ取リノ事ト存候モ右大要及報告候也

(附屬書一)

四九八

写

民国二年十二月二十九日附周交通總長指令

安正鐵道布設却下ノ件

交通部指令第六五三号

皖北正陽商務總會宛

同商會ノ提出シタル呈文及鐵道線路説明書ハ均シク之ヲ閱

悉シタルカ查スルニ本件安徽省安正鐵道ニ就テハ曩キニ管

鵬其他ヨリ株式募集、線路布設、公司組織ノ件ニ閑シ許可ヲ出願シタルコトアルニ際シ本部ハ該線路カ津浦浦信二線

ト並行線タルノ嫌アルカ上ニ交叉ノ弊アル等ノ情形ヲ察察シ妨害至リテ大ナルモノアルニヨリ断シテ許可ノ理ナキモ

ノト認メ其旨直チニ安徽都督ニ電報シ即日該鐵道籌備處ヲ

取消スヘキ旨命令シ同時ニ之ヲ政府公報ニ登載シ置キタリ

其後又タ管鵬等未タ本部ノ許可ヲ得サルニ先チ安正鐵道株式募集ノ名義ヲ乱用シ各地ニ於テ詐偽ニ類スル行為アルコ

トヲ聞込ミタルニヨリ安徽都督ニ電報シ管鵬ヲ拿捕シ其際

右事實ノ有無ヲモ併セテ之ヲ嚴究スヘキ旨請求シ置キタル

コトアリ然ルニ今回提出ノ呈文ヲ查閱スルニ前キニ既ニ地

方官ニ呈請シ本部ニ移牒ノ上其許可ヲ經タル旨記載シアリ

是実ニ故意ニ事實ヲ顛倒セントスルモノナルノミナラス管

鵬等ノ原呈ニハ本件線路ヲ区分シ夫々株式ヲ募集シ布設ヲ

分担スル旨届出テアルニ今回ノ呈文ニハ却テ既ニ洋款ノ借

定ヲ経タル旨記載アルハ最モ不都合ノ至リナリトス查スル

ニ商人カ自由ニ借款シ鉄道ヲ布設スルコト能ハサルハ政府

ニ於テ屢次嚴令シ一体ニ遵奉セシメ並ニ外交團ニモ通告シ

タル所ナリ且ツ本件ハ曩キニタヒ本部ノ駁斥ヲ經安徽都

督ニモ其旨電報シ取消ノ命令ヲ發シタルモノナルニ拘ハラ

ス今回前記出願人等カ敢テ右ノ命令ニ違背シテ開会シ再ヒ

出願ヲナスニ及ヒタルハ尤モ不都合ノ次第ナルニツキ速力

ニ之ヲ却下シ嚴重ニ指令ノ旨ヲ遵守セシム可キモノトス依

リテ右指令ス

中華民國二年十二月廿九日 交通總長 周自齊

(附屬書二)

民国三年一月六日附交通部ヨリ總務司長張

農商總長宛公文

交通部ヨリ正陽商務總會ノ出願ニ係ル安正鐵

農商總長宛公文

八 華中及華南鐵道交涉ニ關スル件 (三) 三二

四九九

八 華中及華南鐵道交渉ニ関スル件 (三) 三一三

五〇〇

ニ禁止シアル所ナルニ該商會ノ願書中ニハ却テ洋款ヲ借定シテ布設費ニ宛シ云々ノ語アリ甚タ不都合ノ次第ナリトス由リテ嚴重ニ叱責シ願書ヲ却下シ置キタルモ尚ホ右願書写ヲ添ヘ貴公署ニ通牒シタルニツキ其旨該商會ニ転達ノ上嚴重ニ禁止方取計ヒアリタク尚又該商會總理協理ヲ查究シ同人等ニ命シ願書記名ノ各員カ本件ニ関係セルヤ否ヤモ併セテ查明ノ上何分ノ回答アリタシ云々

中華民国三年一月六日
國務總理 熊希齡
農商總長 張 謐
中國興業株式会社(ヨリ)
小池政務局長宛
附屬書 三月四日及五日附森恪ヨリ藤瀬政次郎宛書信写
安正線ヲ安穎線トシ認可方ニ付交通部トノ内密
交渉情況報告ノ件(一)(二)(三)

大正三年三月十三日

(一)

大正三年三月四日

五〇〇

政務局長 小池張造殿
上海 森 恪

拝啓

安正線ヲ安穎線トシ認可方ニ付交通部ト内密付申上候間御一覽被下度候勿々拝具
(附屬書)
交渉情況報告ノ件

中華民国三年一月六日

(一)

五〇〇

三一三 三月十三日 中國興業株式会社(ヨリ)
農商總長 張 謐
中國興業株式会社(尾崎印)

第一号
北京ニテ
上海 森 恪
藤瀬政次郎様
拝啓小生昨夜無事到著仕候今朝早速安正鉄道關係者ト會見致候處現下北京ノ狀態ハ百事運動費支出能力ノ如何ニ依リテ左右セラレ官吏ノ腐敗セルコト寧ロ前清時代ヨリモ熾烈ニシテ支那ノ鐵道政策ヲ如何ニスヘキヤ將又如何ナル方針ノ下ニ各鐵道ノ敷設ヲ許容又ハ許容セザルベキカ、當局者ノ間ニハ一定ノ見解アル次第ニテハ無之、安正鉄道ノ如キ

大正三年三月十三日

(三月十四日接受)

外務省

モ之ガ取消ヲ命シタルハ只タ該線ノ国民党一派ニヨリテ企画サレタルガ故ニシテ鐵道政策上之ヲ否定シタル訳ニアラズ安徽都督及ビ省内各都市ノ聯合會ノ請願割合ニ猛烈ナル為メ交通部ニ於テハ穴勝ニ之ヲ拒否スルノ不可ナルコトヲ覺リ安慶正陽閔ノ安正鉄道ナルモノハ其理由如何ヲ問ハズ

一度政府公報ヲ以テ之ガ取消ヲ命シタル次第ニ付キ今日トナリテハ政府ノ面目上再許可ヲ与フルノ余地無キモ安徽人ノ意向如何ニヨリテハ別個ノ名義ヲ用ヒテ敷設ヲ許可セントスル意向ヲ漏スニ至レリ、因テ關係者協議ノ上正陽閔ヨリ更ニ北方穎州ニ延長シテ安慶穎州間(約七百支那里)ヲ第一期線トシ安正ナル名義ヲ替ヘテ安穎線トシ別紙ノ如キ請願書ヲ提出セントシタレドモ、アラユル機會ヲ捕捉シテ口錢ヲ貪ラントセル交通部員ハ言辭ヲ左右ニ托シテ遽ニ許可スルノ風無ク最近ニ至リ安徽代表者ニ對シ本線認可成立ノ上ハ其代償トシテ交通部員ニ對シ拾參萬元ヲ提供スルコトヲ要求シ且ソ批准ヲ與フル前右口錢ノ証拠金引当トシテ交通部ノ機關銀行タル交通銀行ニ不取敢四万元ヲ安徽省人名義ヲ以テ預金シ其口錢供托ノ實行能力アルコトヲ表示スルコトヲ要求致シ四万元ヲ交通銀行ニ預金スルニアラザレ

バ交渉ノ歩ヲ進ムルコト能ハサルコトニ相成申候即チ正金銀行ニ安正鉄道名義ヲ以テ預金シアル金額中四万元ヲ北京交通銀行ニ預ケ換ユ(其預金証書ハ當方ニ保留ノコト)レバ交通部ニ於テハ安穎線ノ敷設認可ヲ與フルコトニ内定致シタル次第ニ御座候

而シテ該線無事中央政府ノ認可ヲ得ルニ至ラバ柏前都督在任中安徽都督府ニ引渡シタル七万余元ハ此際俄ニ取戻シ得ル望無キ故交通部員ニ供托スヘキ拾參萬元並ニ測量ニ要スル諸費用引当トシテ更ニ二十五万乃至三十万ノ追加借款ヲ為シ彼我ノ契約ヲ交通部ヲシテ承認セシメ其有効ナルヲ認メタル上交通部員ニ對シ拾參萬元ヲ引渡サントスル次第ニ御座候

今日ノ場合此等關係者ノ手続ニ贊同ヲ与ヘズ全然從來ノ契約ヲ証拠トシテ外務省ノ手ヲ煩シテ公然抗議ヲ申込ムコトモ一策トハ存ジ候得共日支外交上各種ノ問題ヲ惹起セル此際此種ノ手段ニ出ヅルコトハ余り好マシカラザルコトニテ寧ロ斯ノ如キハ最後ニ訴フヘキ手段ト称スペク我政府ノ數年来主張セル南満鐵道ノ如キモ英國ハ長江流域勢力範囲内ナル口実ノ下ニ日本ノ行動ニ掣肘ヲ加ヘテ其企画ニ係ル寧

八 華中及華南鐵道交渉ニ關スル件 (三) 三一三

五〇一

湘(南京ヨリ蕪湖、南昌、萍鄉ヲ経テ湖南長沙ニ至ル江蘇、安徽、江西、湖南ニ亘レルモノ)線ヲ包含シ去ラント

スル次第ニ付幾分ノ犠牲ヲ払ヒテモ安穎線ヲ成立セシムルコト國家ノ為メニ機宜ヲ得タル次第ト存候間兎ニ角正金預金中ヨリ四万元ヲ交通銀行ニ預ケ換ヘテ交通部ヲシテ安穎線ノ認可ヲ発表セシメ然ル後必要ノ交渉ヲ継続スルコト可然ト愚考致候間本日左ノ通り御架電申上候

交通部ハ安正鉄道ヲ安慶ヨリ穎州迄延長シ全線七百支那里ノ許可ヲナス内意ニテ運動費ノ証拠金四万元交通銀行ニ預金セヨト要求ス先方希望ノ通り正金銀行預金中ヨリ四万元ヲ交通銀行ニ預金シ許可セシメタシ御同意ナレバ正金預金中ヨリ至急四万元送金ヲ乞フ

何卒御同意ノ上何分ノ御指図奉願候 早々敬具

(二)

大正三年三月四日

第二号

北京ニテ

森 恪

上海

藤瀬政次郎様

第三号

北京ニテ

森 恪

上海

藤瀬政次郎様

必要ト致ス次第ニ御座候不取敢貴電御請迄如此ニ御座候

三一四 三月三十一日 在中国山座公使ヨリ

牧野外務大臣宛

安穎鐵道ニ閔スル森等ノ計画ニ対シ英國ノ反

対アルベキニ付請訓ノ件

機密第一三九号 (四月十三日接受)

大正三年三月三十一日

在支那

特命全權大使 山 座 円 次 郎(印)

外務大臣男爵 牧野伸顕殿

ト挙承仕候前電御同意被成下早速ノ御取計快心至極ニ奉存候、夕刻ニ至リ正金當地支店ヨリモ四万弗御送金被成下時候、由案内有之候御手數難有御礼申上候明日關係者ト相謀リ交渉ヲ進メ可申候

本日午後小田切万寿之助氏ニ面会ノ節小生當地到着後ノ成行開陳致候處同氏モ北京政界ノ現状ニテハ小生如述ノ手段ヲ採リテ唯一ノ良策トスベク全然贅成ナリ是非トモ実行政

ス様尽力致シタシトノコトニ有之候御案内ノ通り当地ニ於テハ經濟關係ノ緊要事件ハ殆ント漏無ク公使館ヨリ同氏ノ手ニ回送相成リ居候間本件モ亦タ公使館同様同氏ノ助力ヲ

揮啓

安正鉄道ノ件

右ニ閔スル本日附別信御覽被下候事ト奉存候寧湘鐵道ニ対スル英國ノ抗議ハ我對支政策上容易ナラザル次第ニテ其影響スル所輕々ニ看過スヘキニアラズト存候從テ同シク長江流域ニ企画サレンツスル安穎線ヲ我手中ニ収ムルコトハ絶対ニ必要ナリト愚考致シ候然レドモ三井又ハ東亞興業ノ手ニテハ此上ノ出資ハ肯ジ申ス間敷止ムヲ得ズンバ中國興業ニ於テ追加借款ヲ引受ケ東亞興業ヨリ契約ノ繼承ヲ受クルカ又ハ東亞興業ト共同經營ヲ為スカ何レニシテモ實行シ得ル手段ヲ講シテ中國興業ヲシテ所要ノ金額ヲ融通セシムルコト上策ト存候此儀ニ就テハ過般小生帰朝ノ際倉知尾崎両氏トモ或程度迄打合置候間當地ノ交渉予定ノ進捗ヲ見ルニ至ラバ中國興業トシテノ決心ヲ小生希望ノ通り相付キ可申カト存候何レ如此方法ヲ講スル場合ニハ山座公使ノ手ヲ經テ外務省其他ノ後援ヲ得ル考ニ御座候

右御含ミ迄ニ開陳仕候 早々敬具
(三)
大正三年三月五日

願済ナル旨申出候

然ルニ浦信鉄道借款契約中ニハ現ニ支線布設ノ場合ニハ支那ノ資本ニヨルヘク若シ外國資本ニヨル時ハ契約者タル英國資本家ニ優先權ヲ与フヘキ規定モアリ其後浦信鉄道公司ニ於テハ安正線路ノ並行線トナルヘキ合正線ヲ浦信鉄道支線トナスヘキ計画モアリタル位ナルニ付交通部側ヨリノ協議ニ対シテハ必ス反対ノ意見ヲ提出スヘシト思ハルルノミ

ナラス三月十九日付機密第七三号貴信ヲ以テ御示來相成りタル本邦駐劄英國大使ノ覺書ニヨリ揚子江流域ノ利權ニ対スル同國政府最近決定ノ意見ニ徵スルモ森恪等計画ヲ此ノママニ遂行スルコトハ英國ノ反対ヲ受クヘキハ必定ニ有之

延テハ日英間政治干係等ノ他方面ニモ好マシカラサル影響ヲ及ホスノ虞有之候ニ付本件ノ支那側ノ閑スル限り前述ノ如ク割合順調ニ運ヒ居ル様相見エ候ヘ共一方英國トノ関係ニ徵スレハ寧ロ今日ニ於テ之ヲ中止セシムル方得策ナラン

カト思考致シ候尤モ支那側ニ於テ主トシテ其衝ニ立チ居ル事ニ付此際強イテ之ヲ見合ハセシムヘキ必要モ無之次第ト存シ森ニ対シテハ從前通り支那側ヲシテ責任ヲ取ラシムルコトニ努メ成行次第ニヨリ他ニ利益アル交換問題ヲ提出シ

本件ノ善後処分ヲ講スルニ便ナル様仕向クヘキ旨注意致置キ候得共尚ホ何分ノ御意見御回示相成候様致度候

追テ森ハ中國興業公司ノ件ニ關シ四月一日当地發上海ヲ經テ帰朝ノ筈ニ付本件経過ニ關スル詳細ハ直接同人ヨリ御聞取有之様致度右報告旁及請訓候也

三一五 五月五日 在中国山座公使ヨリ

安頴鉄道布設不許可ニ關シ報告ノ件

附屬書

四月二十七日附安頴鉄道布設不許可ニ關スル交

通部指令

附記 安正鉄道借款成行

機密第一九五号

大正三年五月五日

(五月十四日接受)

在支那

特命全権公使 山座円次郎(印)

外務大臣男爵 加藤高明殿

本件不許可ノ要領ハ不敢往電第三六九号具報済ノ處右ニ閑スル交通部指令本文ハ別紙写ノ通りニ有之即交通部ニ於テハ最初劉文鳳等ノ出願ニ接スルト同時ニ先ツ浦信鉄道ト

写送附先

上海總領事

南京領事

(附屬書)

安頴鉄道布設不許可ニ關スル交通部指令

復命ニ拠レハ第一安頴鉄道ハ六安ニ於テ浦信鉄道ト交叉シ居リ六安ヨリ安慶迄ハ三百里ナルニ浦口迄ハ五百里アリ両線並行ノ結果安徽北部ノ貨物ニシテ長江ニ出テントスルモノハ都テ近キニ依ルヘク為ニ浦信ノ影響ヲ被ムルコト尠カラス第二ニ正陽ノ地ハ既ニ浦信支線ノ終点トナリ居ルコトナレハ安頴線ト自ラ衝突ノ虞アリ第三頴州ニ至ル線ハ浦信ノ幹支線完成ノ後其余力ヲ以テ或ハ布設ヲ出願スルニ至ルヘク安慶ハ安徽ノ要地ニシテ軍事關係モ少カラサルコトナレハ浦信ト接続布設ノ方法等ハ他日規模ノ完成ヲ俟チ再議進行スヘシ云々トアリ右ニ基キ交通部ハ安頴鉄道会社ノ設立ハ許可シ難シトノ指令ヲ与ヘタル次第ニ有之委細ハ別紙ニテ御閱悉相成度候尚未出願者劉文鳳ハ當地ニ於テ森恪ノ代表的地位ニアリ中日美業会社ノ藤井元式ニ対シ交通部ヨリ右様ノ指令アリタル訳ハ少シク運動ニ手違アリタルカ為ナレハ重ネテ葉次長ヲ説キ願書ヲ提出スル積りナリト語リタル由ニ有之候成功ノ如何ハ固ヨリ預知シ難キモ藤井ニ対シテハ絶対ニ表面ノ關係ヲ避ケ裏面ノ注意ヲ怠ラサルヘキ旨ヲ申聞置候此段報告申進候也

八 華中及華南鉄道交渉ニ關スル件 (三) 三一五

展修築額州一段屆時酌奪辦理至安慶濱江爲省垣要地軍事關係甚重將來若何接修亦俟規畫定善方可再議進行等情前來本部查覆無異該代表等所請立案組織公司各節碍難准行仰卽遵照此批

(附記)

安正鉄道借款成行

(大正三年五月政務局調)

大正二年一月在南京船津領事ヨリ同月二十二日旭商会代表森恪ハ安慶府正陽閔間(五百八十支那里)ノ鐵道布設ヲ目的トスル安徽有限公司代表邵蘭秋等トノ間ニ測量設計費トシテ安徽省ノ米捐ヲ担保トスル二十万円借款契約ヲ訂結シ同月二十八日内金三万円ヲ交付シタル旨報告アリタルヲ以テ為念同鐵路公司ト在來ノ安徽全省鐵路公司ナルモノトノ関係其他該契約ニ對スル地方及ヒ中央政府承認ノ有無等ノ諸点ヲ問セタル處三月三日附ヲ以テ同領事ヨリ安正鐵路公司ハ安徽全省鐵路公司トハ無関係ナルノミナラス前記契約ハ中央政府ハ勿論省議会ノ認可ヲモ得居ラス單ニ創立当事者ニ於テ五万元ヲ醵集シテ創立費ニ充ツル計画アル

ノミニテ未タ株式募集ノ運ニモ至ラサル旨ヲ回報シ来リ
一方旭商会ハ正金銀行ニ対シ右二十万円融通方ヲ交渉シタル處同銀行ニ於テハ二月十四日一応在北京小田切取締役ノ意見ヲ徵シタルニ担保タル米捐ノ収入確実ニシテ都督ニ於テ右米捐提供ヲ公然承認シ且契約ヲ認証スルニ於テハ貸付差支ナカルヘントノ回答ニ接シタル趣ヲ以テ尠クトモ地方政府ノ保証アラハ貸出シニ応スヘキ意嚮ナリシカ鐵路公司側ニ於テ斯クテハ同公司ヲ商弁トナスノ目的ヲ没却スルモノナリトノ理由ヲ以テ保証申請ヲ絶対ニ拒絶シタルヲ以テ正金ヨリ右様ノ次第ニテハ本件ハ全ク考慮ノ余地ナキ旨三月二十六日旭公司ニ通告セリ

然ルニ其後都着柏文蔚ハ四月上旬同鐵道關係者ノ請願ヲ納レ線路測量保護方當該各縣知事ニ訓令ヲ發シ次テ同月二十七日當時上海ニ在リタル森恪ニ対シ同鐵道案ハ省議会ヲ通過シ即日成立シタルニ付極力贊助シ以テ一日モ早く完成ヲ期スル旨ヲ電報シタリ

依テ旭公司ハ東亜興業会社ト協議ノ上右鐵道借款ニ關スル権利義務ノ全部ヲ同社ニ譲渡シ同社ハ三井ヨリ資金ヲ融通

セシムルノ内諾ヲ得自ラ契約当事者トナリテ借款ニ応スルコトニ決定シ其旨本省ニモ申出タルニ付本省ヨリ東亜興業会社ニ対シ本件ノ如キ借款ハ中央政府ノ認可ヲ得サレハ無効ナルヘキハ嘗テ支那政府ノ声明シタル所ナルノミナラス陸外交總長ハ五月一日附公文ヲ以テ我在支公使ニ対シ各省ノ團体ニシテ中央政府ノ認可ヲ受ケシシテ任意ニ斯カル借款ヲ為シタルトキハ契約調印済タルト否トニ拘ラス一切承認ヲ与ヘサルノミナラス是ヨリ生スル外國商人ノ損害ニ対シ追償ノ責ニ任セサルヘキ旨重テ照会アリタル次第ヲ通報シテ同社ノ注意ヲ喚起シタリ然ルニ當時本借款ニ關シ東亜興業会社ヨリ全權ヲ委ネラレ居リタル上海三井物産会社支店長藤瀬政次郎ハ清朝時代以来前記ノ如キ通告ハ屢々發セラレタルモ未タ一モ実行セラレタルコトナキヲ以テ必スシモ中央政府ノ承認ヲ要セサルモノトナシ五月二十八日都督柏文蔚ノ承認ヲ得自己ノ責任ヲ以テ右借款契約ニ調印ヲ了シ六月二日第一次借款二十万円交付ノ手続ヲ了セリ(當時支那南北乖離ノ際ニテ南方側タル柏文蔚ハ中央ヲ無視シテ之ヲ決行シタル次第ナリ)

東亜興業会社ハ六月十八日取締役會議ヲ催シ右契約ヲ審査

支那南北乖離ノ際ニテ南方側タル柏文蔚ハ中央ヲ無視シテ

之ヲ決行シタル次第ナリ)

八 華中及華南鉄道交渉ニ關スル件 (三) 三一五

然ルニ九月十四日突如政府公報ニ本鐵道ハ津浦浦信兩鐵道ノ利益ヲ妨害スルヲ以テ認可ヲ与ヘサルノミナラス同公司事務所ノ撤廃ヲ命スル旨並ニ出願人管轄力無認可ニテ株金募集ヲナシタルハ詐欺ニ均シキ行為ナレハ逮捕審問スヘキ旨ノ安徽都督宛(先是柏文蔚ハ六月三十日陝甘籌邊使ニ転任ヲ命セラレ七月二十二日榮典軍職ヲ褫奪サレタリ)交通部ノ電訓掲載セラレ次テ同公司理事洪忠愷ハ安慶ニ於テ捕縛サレ又在上海張交渉員ヨリ有吉總領事ニ対シ九月二十三日附公文ヲ以テ本借款未承認ナル旨三井(借款当事者ヲ三井ト誤解セルカ如シ)ヘ転飭方照会シ来レリ

本件ハ元來帝国政府ノ干与シタル事項ニアラサルモ前記ノ始末ト相成テハ我利權保護上看過シ難シト認メ關係者ヨリ哀願ノ次第モアリ旁十一月二十四日先ツ在支公使ニ対シ本

件借款ハ既ニ内金ヲ先方ニ交付シアリ且技師傭聘契約モ成立シタル程事態進捗シ居ルニ拘ラス支那政府カ单ニ一片ノ指令ヲ以テ鉄路公司ヲ否認シ其結果本件契約ヲ無効ニ帰セシムルニ至リタルハ如何ニモ從来ノ行掛ト日本資本家ノ利益トヲ無視シタル不法ノ処置ナルヲ以テ本邦人ノ利權擁護ノ為本件復活方法ヲ講シ度ニ付意見回示アリ度旨電訓シタル所同公使ヨリ森恪ノ内話ニ依レハ都督倪嗣冲等ト交渉シ本公司復活ノ見込立チタレハ當分表面ヨリノ交渉ヲ見合セラレタシトノコトナルカ素々中央政府ノ不認可モ鐵道其者ニ対スル反対ニアラスシテ柏文蔚一派ノ国民党庄迫ヲ目的トスルニアルヲ以テ現都督等ノ計画ナルニ於テハ成功ノ望アリト認メラルニ付暫ク成行ヲ観望スヘキ旨回答アリ次テ大正三年一月十九日附ヲ以テ重テ同公使ヨリ其後本鉄道布設反対ノ公文ニ通政府公報ニ発表セラレタルヲ以テ北京ニ在リテ運動中ナリシ森恪ニ注意シタル処同人ヨリ關係者ニ於テハ強テ之ヲ障害トモ認メス鐵道事務ハ葉交通部次長ノ掌中ニアルコト故目下同次長ヲ動カサンカ為尽力中ニテ尚成功ノ見込アル旨申出デタル趣追報シ來レリ然ルニ其後本鉄道關係者ニ於テハ引統キ運動ニ勉メ遂ニ交

於テハ尚挽回ノ余地アリトナシ引統キ内密運動シテ止マサリシカ客臘籌安会ノ首領タル孫毓筠及倪嗣冲ノ援助ニヨリ交通部次長麦信堅トノ間ニ本鉄道敷設許可ノコトニ話合ヒ纏マリタル趣ニテ愈々本件成立ノ上ハ孫毓筠ニ於テ本鉄道総理ニ就任スルコトニ關係者間ニ協議整ヒ居タリト云フ尚之等關係者一同ノ希望ニヨリ我東亞興業会社ヨリ該關係代表者ニ本件督促ノ意味ノ書面ヲ送リ之ヲ動機トシテ右代表者ヨリ本鉄道敷設許可陳情書ヲ交通部ニ提出シタル趣ナルカ其ノ後何等ノ發展ナキカ如シ

三一六 九月七日 小池政務局長殿

元安正鉄道公司總理管鵬起訴ノ願末二付報告ノ件

附屬書 八月二十七日附在上海有吉總領事ヨリ古市東亞

興業社長宛書信写
管鵬ノ公訴願末取調ノ件

大正三年九月七日

東亞興業株式会社

社長 古市公威

外務省

八 華中及華南鉄道交渉ニ関スル件 (三) 三一六

通部ノ内諾ヲ得タル趣ニテ先ツ安正線ハ曩ニ交通部ニ於テ不認可ノ命令ヲ与ヘタル行懸アルニ付更メテ同線ヲ頴州迄延長シ安頴鐵道ノ名義ヲ以テ安徽商界代表者劉文鳳等ヨリヲ徵シ其ノ結果ニヨリ何分ノ決定ヲ与フルコトナリタリ然ルニ同年三月三十一日在支山座公使ヨリ浦信鐵道ノ關係並ニ揚子江流域ニ對スル英國ノ意図ニ顧ミ寧ロ本件計画ハ之ヲ中止セシムルコト得策ナラムカト思考ス尤モ支那人側ニ於テ主トシテ其運動ノ衝ニ立チ居ル次第ニ付此ノ際強テ之ヲ見合ハセシムヘキ必要モナシト認メラルニヨリ森恪ニ対シテハ從来通り支那人側ヲシテ責任ヲ取ラシムルコトニ努メ成行次第ニヨリ他ニ利益アル交換問題ヲ提出シ本件ノ善後処分ヲ講スルニ便ナル様仕向クヘキ旨注意シ置キタルモ尚本省ノ意見承知シ度旨申越シタルカ右ニ對シテハ何等回訓ヲ与ヘ居ラス

浦信側ニ於テハ前記交通部ヨリ意見ヲ求メラレタルニ対シ安頴線布設反対意見ヲ回申シタルカ同年四月二十七日劉文鳳ニ対シ交通部ヨリ本件ハ浦信鐵道トノ關係調査ノ結果不許可ト決シタル旨ノ指令ヲ与ヘタリ然レトモ本件關係者ニ

拝啓元安正鉄道公司總理管鵬被起訴ノ件ニ閑シ予ネテ在上海有吉總領事ニ公訴ノ願末取調方御願申上置候處去月廿七日附ヲ以テ別紙ノ通り御回示ニ預リ候ニ付御参考ノ為メ右写茲許封中供貴覽候右得貴意度如斯候 拝具
(附屬書)

八月二十七日附在上海有吉總領事ヨリ古市東

亞興業社長宛書信写

管鵬ノ公訴願末取調ノ件

大正三年八月廿七日 有吉明

東亞興業株式会社

社長 古市公威

拝復時下殘暑難去候処愈御清康奉大賀候

陳者当地会審衙門ニ於ケル元安正鉄道總理管鵬ノ被起訴事件ニ閑シ本月八日附貴信ヲ以テ御依頼ノ義正ニ拝誦致候就テハ當館ガ会審衙門ニ於テ取調ベタル所ニヨレバ本件ハ四月十九日支那政府(上海揚觀察使ノ名ヲ以テセリ)ノ起訴ニ基キ安徽省ノ亂党タル刑事犯人トシテ當地ニ於ケル凌

鉄、管鵬、張孟傑ノ三名ニ対シ会審衙門ヨリ拘引状ヲ発シ
管鵬ハ翌二十日同衙門ニ拘留セラレ支那及英國会審官ニテ
一応ノ審理ヲ為シタルモ其乱党タル証拠不十分ナルヤ揚観
察使ハ更ニ管鵬ニ私ニ外債ヲ借り該金ヲ私消シタルモノト
ノ起訴事項並ニ理由ヲ添加シ爾來会審衙門ニ於テハ数回審
理ヲ行ヒタルニ本件裁判管轄問題ニ付キ原告支那政府ノ訴
訟代理人ハ同人ノ裁判ハ之ヲ安徽省ニ於テ行フベシト主張シ
支那会審官ハ之ヲ正当トシテ安徽省ニ引渡サンコトヲ主張
シタルモ英國会審官ハ之ニ反対シ本件ハ当地会審衙門ニ於
テ判決ヲ与フベキモノナリト主張シ両会審官ノ主張ヲ異ニ
シ懸案タリシガ七月二十一日ニ至リ鄭上海鎮守使ヨリ更ニ
管ハ公私文書ノ偽造犯罪アリト起訴セシガ遂ニ八月五日ノ
審理ニ於テ英國会審官ハ支那政府ガ本件ヲ安徽省ニ引渡サ
ズ当地会審衙門ニ於テ裁判スルコトヲ二十四時間内ニ承認
セザルニ於テハ本件ヲ却下シテ管ヲ海外ニ追放セシムベシ
トノ宣告ヲ与ヘ支那会審官ハ之ニ応セズ單ニ管ハ未決監ニ
収容シ更ニ審理スベキ旨ヲ宣告セリ然ルニ其後支那政府ハ
本件ノ会審衙門ニ於ケル裁判ヲ承認シ管ヲ安徽省支那官憲
ニ引渡サザルコトトナリタルニ付同衙門ニ於テ從来本件会

致來候間為御参考茲ニ右写封入致シ尚英文判決中ニアル

追放ノ意味ハ支那ヨリ追放（漢文判決ハ租界ヨリ追放ト
アルモ）ノ意味ニ検察員ニ於テ承知セル趣ニ付右申添候
也

註 起訴状写及英漢文判決写省略

四 常玉鉄道

三一七 一月二十四日

（在漢口高橋總領事代理ヨリ
牧野外務大臣宛）

常玉鉄道ニ閥スル八木書記生報告写送付ノ件

附屬書 一月二十一日附在九江八木書記生ヨリ在漢口高

橋總領事代理宛機密第五号写
常玉鉄道ニ閥スル江西省側ノ動靜ニ付報告ノ件

機密第一五号
大正三年一月二十四日
在漢口

総領事代理 高橋 新治（印）

外務大臣男爵 牧野伸顯殿
八 華中及華南鉄道交渉ニ閥スル件 (四) 三一七

常玉鉄道ニ閥スル件
本件ニ閑シ九江八木書記生ヨリ別紙ノ通り報告有之候ニ
付右写茲ニ差進候間御査閱相成度候 敬具
追テ右写倉知中國興業副總裁ニ御転示相成度旨八木書記
生ヨリ特ニ申出有之候ニ付可然御取計相成度此段申添候
也

写送付先 在支公使

（附屬書）

機密第五号

大正三年一月二十一日

在九江

外務書記生 八木元八

在漢口

総領事代理 高橋新治殿

常玉鉄道ニ閥スル件

客年十月末南昌汪民政長ハ鉄路ニ閥スル大會議ヲ開キ常玉
線問題ニ閑シ李烈鈞湯寿潛間ニ訂結サレアル契約条項ヲ改
訂シ計画ヲ進行セシムル事ヲ決議シタルモ財政困難ノ為メ

審官タリシ支那正会審官閔炯ハ支那会審官聶宗義ニ替リ英
國正会審官「ガーステン」ハ英國副会審官「グランド、ジ
ヨンス」ニ替リ更ニ本件ニ閑シ数回ノ法廷ヲ開キ原告及被
告ノ弁護士ハ互ニ弁論ヲ試ミタル上本月中旬審理終結シ遂
ニ昨日即廿六日ヲ以テ被告管鵬ハ一年半ノ懲役ニ処シ期滿
後租界ヨリ追放スベシトノ最終判決ノ宣告アリ右判決ハ支
那及英國会審官ニ於テ協議ノ上与ヘタルモノニ付漢文及英
文同様ノ文意ニテ記サレタリ而シテ當地会審衙門ニ於ケル
刑事々件ニ対スル判決ハ普通ノ場合何等ノ理由ヲ明記セザ
ルヲ例トセルニ付本件ノ如キモ單ニ前記判決ヲ判決錄ニ記
入セラレタルモノナリ從テ其判決理由ニ閑シテハ特ニ明記
公表スルコト無之候

尚本件ハ邦人側ノ安正鉄道借款ニ関係ヲ有スル義ニ有之候
ヘ共本件發生以來該借款關係ノ当事者ヨリハ何等ノ申出無
之カリシニ付当館ニ於テモ別段ノ措置ヲ取ラザリシ次第ニ
有之候

右御回答旁此段申進候 敬具

追テ本件ニ閑シ當館西田会審官ノ請求ニヨリ会審衙門檢
察使ヨリ當地警察署ノ起訴状写並ニ漢英文ノ判決文送付